

このサイトは、方言と共通語の基礎知識を学び、次第に失われつつある方言について考える教材です。



現在、世界では約6,000の言語が話されていると言われてますが、2009年のユネスコ(国連教育科学文化機関)の発表によれば、世界で約2,500の言語が消滅の危機に晒されているとの調査結果が明らかにされました。

この内、日本ではアイヌ語が最も危険な状態にある言語として「(消滅に近い)極めて深刻」な危険区分に分類されたほか、八重山、与那国のことばを「重大な危険」、沖縄、国頭、宮古、奄美、八丈のことばを「危険」という危険区分に分類しています。

我が国には、各地域に多様で豊かな文化が存在し、その厚みが日本文化全体の豊かさの基盤をなしています。これは各地域それぞれにおいて継承されてきたことばや所作・振る舞い・慣習の積み重ねであり、遠き祖先の代から連続と伝えられてきた宝物とも言うべき諸々の地域文化を失うことは、日本文化全体の衰退と同義であると言わざるを得ません。

言語は人類にとって文化の産物であり、文化を形成する重要な一部分です。言語の多様性が失われるということは、その地方の個々の風土・自然環境などを適切に表現する方法が失われるということにもなります。単にその地方の文化が失われるだけでなく、認知科学や自然科学の研究にとっても大きな損害となり得ます。文化多様性の重要性について学び、考え、言語を文化遺産(知的遺産)として認識し、保全して行くことが重要です。

方言は地域に根ざした独自の言葉であり、方言を学ぶことは地域の伝統や習俗、言葉に表れた文化の独自性(=地域ごとに表れた文化の多様性)を保存・継承していくことに繋がっています。

この教材では、「方言とは何か」をわかりやすく説明した上で、現在日本から消滅の危機にある8種類のことばに関し、現地の古者や地域のことばを後世に伝えるための取組などを取材した動画(ムービー)を紹介しています。また、日常使われている言葉が、各地でどのように異なった言い方をされているのかを調べる「方言マップ」や、方言をもとにした「方言かるた」の紹介・作成コーナー、資料コーナーとして、方言に関連したサイトへのリンクページ、また、方言に関連する書籍を紹介するページなどを設けました。

ESD(持続可能な開発における教育)において、自身の所属する固有の文化・風土に誇りを持ちながら、他者の持つ文化の多様性を尊重し認め合うことが、最も重視されるべき要諦の一つとされています。いま多くの地域で衰退し、消滅の危機に瀕している方言を学ぶことは、将来に亘って文化の多様性を保全する上でも重要な取組となるものです。方言や地域文化についての学習教材として、あるいはESD(持続可能な開発における教育)教材として、自由に活用して頂ければと願っています。

企画・発行：財団法人 奄美文化財団
〒894-1204 鹿児島県奄美市住用町大字山間811-1
TEL: 0997-69-2248 FAX: 0997-69-2222

制作：NPO法人 環境教育推進協議会

プロデューサー：藤ヶ谷 浩一 / 大田 美紀
構成：大田 美紀 ●制作：三井 星彦
映像演出：中原 想吉
撮影：中原 想吉 / 藤ヶ谷 浩一 / 竹内 洋祐
清野 正孝 / 伊波 興一郎

映像素材協力：株式会社シーンプランニング21

協力(敬称略・順不同)

- 国立国語研究所/木部 暢子 ●琉球大学/狩俣 繁久 ●鹿児島県大島支庁
- シマムタ伝える会 ●山田 薫 ●森 チエ ●住用小学校 ●あまみエフエム
- 萱野茂二風谷アイヌ資料館/萱野 史郎 ●二風谷こども図書館 ●八丈町教育委員会
- 八丈町立三根小学校 ●劇団かぶつ ●山田 平右衛門 ●与論教育委員会
- 与論町立与論小学校 ●与論民俗村/菊 秀史・菊 千代 ●宮城 百合子 ●宮城 文
- 仲間 博之 ●沖縄県立美術館 ●京都大学 ●ひよどり保育園/花城 千枝子
- くにぶん木の会/登野城 ルリ子・池田 哲子 ●山里 節子 ●まきら幼稚園/小濱 美知
- 新川字会/照屋 寛文・翁長 致純・嵩本 安意 ●前黒島 勇市 ●与那国町教育委員会
- 与那国民俗資料館/池間 苗・池間 龍一 ●楽曲協力/千葉 伸彦

方言ってなんだろう?

地域の言葉を調べてみよう! 方言から学ぶ文化多様性

日本の中で消滅の危機にさらされていることば

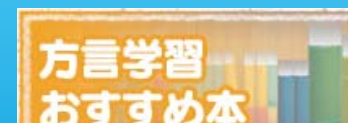
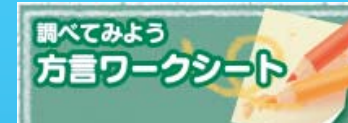
日本全国、東西南北、様々な場所ごとに、特徴を持ったことばがたくさんあります。みんながふだん使っていることばの多くは、方言と呼ばれているんだよ。でも、それがだんだん無くなりつつあるらしい…そんな事になる前に、みんなのことばの世界を訪ねてみよう!

未来に伝えたい言葉 ムービー

日本からなくなりかけている8つのことばを、それぞれの地域の人たちにお話ししてもらいました。文章ではなかなかわかりにくい独特なことばを、ムービーを見て、聞いて、感じるすることができます。

つくってみよう 方言かるた

方言をもとにした「かるた」は、日本のあちこちでつくられています。そんな各地の「方言かるた」を紹介するとともに、自分たちでもつくって、遊んで、学べるようなコーナーも用意しました。



コンテンツ1 方言と共通語の基礎知識を学ぶ「方言ってなんだろう？」

日本で使われている国語は日本語のみですが、話し言葉には各地方ごとに様々な違いがあります。この地方ごとにちがう言葉を方言といいます。方言には、テレビやラジオから流れてくる共通語とは違う言葉で、それぞれの地域や文化、そこで暮らす人々の生活や気候や様々な環境が影響して生まれた言葉です。方言は地域らしさにあふれ、共通語にはない豊かな表現や楽しい表現がたくさんあります。コンテンツ1では、方言と共通語の意味、概念についての基本的な知識を学ぶことができます。

方言ってなんだろう？

方言ってなあに？ 共通語ってなあに？

方言の分布 方言と共通語の違い

さっとむかしは、町と農村が、海のちかくと山のちかくでは、人のくらしも、ずいぶんちがっていたんでしょうね。

そういうことさ！
だから方言は日本中にくさんあるし、その土地のくらしに深くむすびついている、きめこまかいことばなんだ。

北海道方言 アイヌ語
北陸方言
中部方言
東部方言
九州方言
八丈方言
琉球方言
本土方言
日本語

コンテンツ2 ムービー「未来に伝えたい言葉」

現在世界で話されている言語の数はおよそ6000語とされています。2009年、ユネスコはそのうち、およそ2500語が消滅の危機に瀕していると発表。日本においてはアイヌ語、八丈語、奄美語、国頭語、沖縄語、宮古語、八重山語、与那国語の8つの言語が消滅危機のリストに加えられました。先人達が大事に育ててきた地域独自の言葉は、その地域の自然や文化、伝統などを表す、いわば「目には見えない宝物」です。その宝物を後世につないでいくために今、日本で消滅の危機にある8つの言葉の地域では、どんな取組が行われているのかをコンテンツ2では、ムービーで学ぶことができます。

アイヌ語 (北海道二風谷)

八丈方言 (八丈島)

奄美方言 (奄美大島)

国頭方言 (与那島)

沖縄方言 (沖縄本島幸直区)

宮古方言 (宮古島)

八重山方言 (石垣島)

与那国方言 (与那国島)

コンテンツ3 調べてみよう 方言ワークシート

コンテンツ3では、「あいさつ」「ものの名前」など、普段の生活で使っている身近な言葉について、それぞれの地域で使われている同じ意味の言葉を調べてまとめ、これを元に「方言マップ」を作成することができる学習コンテンツです。

カテゴリ別のワークシート形式による方言調べ学習を通じ、同じモノやコトが地域によって異なった言葉で呼び表されていることや、その言葉の由来を知るなど、方言の多様性を学びます。

方言調べワークシートをダウンロード・印刷して、「方言マップ」をつくってみましょう。

- あいさつ
- 食事・食べ物
- 人のよび方
- 料理・味
- 体のよび方
- 生き物

いろいろな方言を調べてみよう！

カタツムリ

① チンチンムシ ② ナメクジ ③ カタツムリ ④ チンチンムシ ⑤ カタツムリ ⑥ カタツムリ ⑦ イモエビ ⑧ チンチンムシ ⑨ カタツムリ ⑩ マイマイ ⑪ チンチンムシ ⑫ ツノムシ

コンテンツ4 つくってみよう 方言かるた

伝統的な遊びの一つである「かるた」には、百人一首やいろはことわざ、地元の名所・名産・出身者を題材にした郷土かるたなどいろいろありますが、近年、方言を題材にした「方言かるた」が各地で作られ、定期的に大会が催されるなどしています。

方言かるたを通して、子どもも大人も楽しみながら、古くから地元で伝わってきた独自のことに触れる機会となり、静かなブームとなっています。

コンテンツ4では、方言かるたの紹介をはじめ、方言学習で学んだことをもとに、自分たちの地域の方言を使って「かるた」を作り、それを使って遊ぶことで方言の理解・実践へと繋げるコンテンツです。

見本となる「八丈・島ことばかるた」や奄美方言による「ことわざかるた」、オリジナル「かるた」作りのためのダウンロード用データ等で構成。「方言かるた」を通して、子ども達が方言に対する認識を深め、自分の地域や方言に誇りを持つとともに、共通語との違いを学ぶことができます。



【八丈・島ことばかるた】

【奄美方言かるた】

奄美方言かるたは、奄美に伝わる、「子や孫に伝えたい島のことわざ」をまとめて、いろはかるたにしたものです。このかるたの札データはダウンロード・印刷して使用することができます。また、オリジナルかるた作りのための制作用無地かるたデータもダウンロードして印刷できるようになっています。方言かるたを体験してみましょう。

サイトマップ

TOP

このサイトについて
著作権について
大人の方へ

コンテンツ1 方言と共通語の基礎知識を学ぶ
方言ってなんだろう？
方言ってなあに？
共通語ってなあに？
方言と共通語の違い
方言の分布

コンテンツ2 言語について考えるメディア教材
未来に伝えたい言葉
消滅の危機にある言語
アイヌ語とその取り組み
八丈語とその取り組み
奄美語とその取り組み
国頭語とその取り組み
沖縄語とその取り組み
宮古語とその取り組み
八重山語とその取り組み
与那国語とその取り組み

コンテンツ3 方言調べ学習用ワークシート
調べてみよう！方言ワークシート
身近な言葉の一覧
「あいさつ」ワークシート (PDF)
「人のよび方」ワークシート (PDF)
「体のよび方」ワークシート (PDF)
「食事・食べ物」ワークシート (PDF)
「料理・味」ワークシート (PDF)
「生きもの」ワークシート (PDF)
ワークシートの使い方

コンテンツ4 方言調べ学習サポート
つくってみよう！方言かるた
方言かるたの紹介
奄美の方言かるた
奄美方言かるた札データ (PDF)
方言かるたをつくろう！
無字かるた札データ (PDF)

コンテンツ5 方言調べ学習サポート
方言学習 おすすめ本

コンテンツ6 方言調べ学習サポート
方言学習 おすすめリンク